

# 個人研修奨学金

ドイツ

和田 耀平 政経学部 法律政治学科 2年

埼玉県私立本庄第一高等学校出身  
2024.4 拓殖大学入学  
2025.8 個人研修参加



研修場所の景色

## 憧れのドイツへ

### 【研修参加の動機について】

大学に入り、ドイツ語を勉強して間もない頃は、自分がドイツに3週間も行くななんて思ってもいませんでした。研修参加の動機は、大学1年の時、ドイツ語の授業で田野先生からドイツについての話を聞く中で、一度はドイツに行きたいと思うようになりました。先生から個人研修奨学金の事を教えてもらい今年応募しました。実際、海外で3週間過ごして視野が広がったかは分かりませんが、日本にはないものを見たり、聞いたり、感じたりして多くのことを吸収できたのは間違いありません。また、日本では当たり前だと思っていたことが、ドイツでは当たり前ではなかったことがあったため、自分の中にあった固定概念や日本のすばらしさを再認識できました。

この研修に参加を希望する学生は、日頃から研修先の国やその周辺の国々に関心を持つことが大切だと思います。これは、現地の方々と話す時に相手の国のことを多く知っておくと、内容が頭に入りやすくなると同時に、話が弾みやすくなるからです。また、語学学校で出会う海外の学生とコミュニケーションを円滑に行うために英語も少しできた方が良いでしょう。実際、自分も英語でコミュニケーションを取る事が多かったです。加えて、自分の反省点でもあるのですが、切符を買う券売機の操作の仕方を事前予習しておく方が良いでしょう。

### 【日常生活について】

ドイツでの日常生活は日本とは、とても異なっていました。ドイツでは、夜の22時以降は静かにしなくてはならず、シャワーも浴びてはいけないという事です。また、15時も高齢の方達にとっては昼寝の時間としており、静かにしなくてははいけない時間としています。ドイツの

公共交通機関は、改札が無く、乗る前にチケットを買ってから乗る仕組みで、チケットを買わずに乗る事も出来ますが、運航会社の職員に見つかると罰金を取られます。また、ドイツの鉄道・バスなどの公共交通機関は頻繁に遅延します。さらに、運休と運転の打ち切りも多いです。実際に自分もドイツに到着した日に電車の打ち切り、帰国する日に40分の遅延を経験しました。この点に注意しながら、ドイツでは電車やバスを利用しなければいけないのです。

ドイツでは、環境に対する取り組みが推進されており、スーパーマーケットで買ったペットボトル、瓶、缶をスーパーマーケットに設置されている回収するところに持っていくとお金が戻ってくるなどのサービスにより国民が自発的にリサイクルするようになっていきました。ドイツは環境先進国なのでこのような取り組みも日本よりも進んでいます。

### 【研修を通して得たこととその成果を今後の学生生活や社会へどのように還元するか、について】

私は研修を通して、自ら積極的に行動することが大切だと学びました。それは、特にコミュニケーションを取る上で強く思いました。例えば、相手から一方的に話されてもただ聞いているだけになってしまいますが、自分から積極的に話すことによって、ドイツ語が上達するだけでなく、仲も深まり、留学生活がより充実します。日本ではこのような体験がなかなかできませんが、ドイツで過ごしたことによって改めて大事なことに気付かされました。積極的に発言することを、今後のドイツ語の授業や就職活動などの多くの場面で活かしていきたいです。また、そのためにもドイツ語や英語力を向上させたいです。



研修の様子



休日訪れた博物館